佐藤尚中先生歿後百年記念

展覧会目録

、陣羽織

(難、有交乍之歎易、無久	無背後之毀難、	有面前之誉易、	(6)
笠鶯真逸	身	脩己以敬克持立身	(5)
去留無意		雲巻雲舒	
開花落、去留無意、漫随	(閑)庭前、花	間	(4)
笠鶯真逸	怡	田園粗足丘壑可怡	(3)
笠鶯真逸	人病之変	識人身之常応疾病之変	(2)
正六位守大学大博士 藤原	正六位	積善	(1)

(8) (9) 佐藤舜海宛 明治七年八月三十日

(10)佐藤 進宛 明治七年五月八日

(12) (11) 佐藤 野 進宛 宛 明治七年三月四日 明治七年十月九日

(1) (15) 遺稿·遺著 慶応二年塾生名簿 安藤堯民宛

則青山白雲何在、非我枕屏

笠鶯真逸尚中

(9)(8) (7)

飛花吹満硯池頭

頗懷古人之風愧、無素屛之賜、

心曠神怡、寵孱皆忘

(2) 建白書 医院設立仕方

笠鶯真逸尚中

笠鶯真逸尚中

遂幽居士笠鶯書

『斯篤魯黙児砲痍論』刊本 。斯篤魯黙児砲痍論』原稿 佐藤尚中妻墓碑銘(拓本)正面·側面

送岡部済海序萬延紀元庚申閏三月

金井各膳宛 万延一年十二月十四日 長崎より発信

(2) 佐藤泰然宛 文久一年一月十七日

長崎より発信

(7) (6) (5) (4) (3) 寛斎宛 寛斎宛 明治六年十二月五日 明治六年二月五日

岡本道庵宛 岡本道庵宛 明治四年極月二日 明治四年五月十一日

岡本道庵宛 明治三年八月三日 明治四年六月二十八日

岡本道庵宛

岡本道庵宛 明治七年一月二十五日

(13)

笠鶯真逸尚中 笠鶯真逸書 笠鶯真逸

笠鶯真逸尚中

(13)(12) (11)

陰徳自然冝有慶

幽居養性真

事在勉強而己 樹涼暑気潜消

舜海佐藤尚中書

五、尚中先生彰徳碑(拓本) (13)(12) (11)(10)関連史料 (1) (10)(9)(4) (3) 『済衆録』刊本 『済衆録』原稿 『瘍科類集』 ニーマイエル医経』原稿 セリウス眼科書』 進 進→尚中 泰然→尚中 泰然→尚中 →尚中 →尚中

泰然→尚中 泰然→尚中 泰然→尚中 泰然→尚中

一八七二年

九月二十六日

泰然→尚中 泰然→金井右膳

十一月一日 十一月二十四日 九月二日 九月二日 三月節句

二月二十四日 七月十六日 七月八日 三月十三日

> ポンペ滞日五年 原著

(4) 順天堂経験 順天堂医事雜誌 同

(9)(8) (7) (6)

『瘍学全書』

『兵隊医訳』 『外科医法』 「外科医法」原稿

一原稿

(7) (6) 朋氏病理学書 朋氏外科手術編·手術則

(5)

関寬斎長崎在学日記

二、その他 (2) (1) 順天堂社中姓名録

(5)(6) 扶氏経験遺訓 月給定則 順天堂外科実験 明治四年医者番付 泰然·緒方洪庵宛封書 佐倉藩老中日記

佐藤尚中愛用打診器

(4) (3)

長崎在学日記 広告、回陽丹 広告、神楽